

スーグラ®錠の注意が必要な副作用

医薬品リスク管理計画 (RMP)

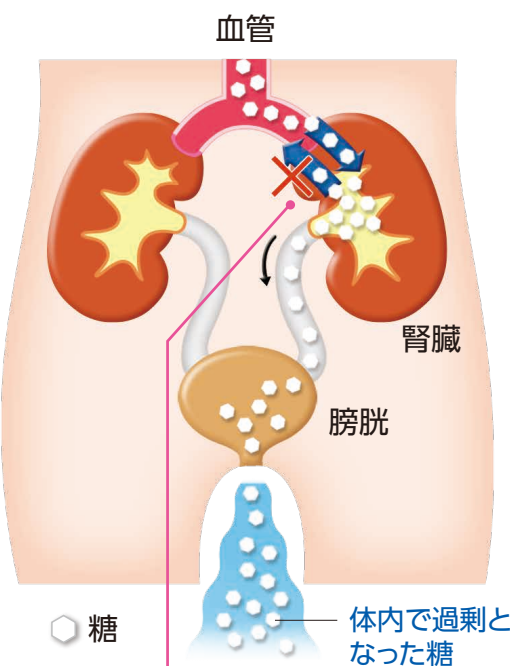
1型糖尿病

監修：川崎医科大学 名誉教授 川崎医科大学附属総合医療センター 特任部長 加来 浩平 先生
大阪医科薬科大学 内科学I 教授 今川 彰久 先生 (ご所属・役職名等は2023年8月時点のものです)

スーグラ®錠は、過剰な糖を尿といっしょに排出させて血糖値を下げます。

注) スーグラ®錠はインスリン注射の代わりになるものではありません。ご自身の判断でインスリン注射を中止しないでください。

スーグラ®錠が血液中の糖を減らすしくみ

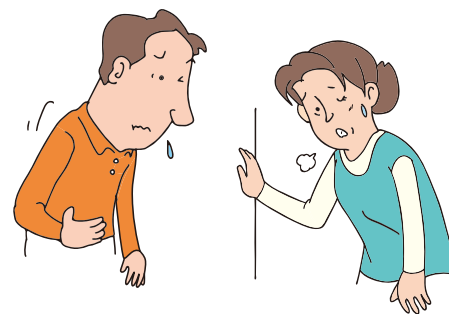


スーグラ®錠は、糖が体内に戻るのを抑えて、過剰な糖を尿といっしょに排出させます。

▶ ケトアシドーシスにご注意ください。

このような症状を感じたら、すぐに医師に相談してください。

- 吐き気・嘔吐
- 食欲減退
- 腹痛
- 異常な口の渴き
- 体の疲労感
- 呼吸困難
- 意識がもうろうとする



注) 高血糖がみられないケトアシドーシスがあることにも注意が必要です。血糖値だけで判断せず、測定が可能な場合はただちに血中または尿中ケトン体を測定してください。(正確な診断には血中ケトン体測定が必要です)

以下のような場合にケトアシドーシスになりやすいのでご注意ください。

- ▶ インスリン製剤を投与できなかった
- ▶ インスリンポンプの不具合等によりインスリンが注入されなかった
- ▶ 短期間でインスリンを大幅に減量した
- ▶ 厳しい糖質制限を行っている
- ▶ 体調不良などで食事をとれない状態が続いている
- ▶ 感染症を起こしている
- ▶ 脱水を起こしている
- ▶ 激しい運動をした
- ▶ アルコールを多飲している

注) インスリンポンプに不具合が生じた際に対応できるように、インスリン製剤を携帯するなどの事前対策が重要です。

注) ポンプ使用者は、吐き気・腹痛などの症状がある場合は、血糖値が高くなくてもポンプトラブルの有無を確認してください。

▶ 低血糖の症状にご注意ください。

低血糖の症状

血糖値が低くなると、以下のような症状があらわれます。



インスリン治療を行っているとき低血糖を起こしやすいため、注意してください。また、いきなり意識障害が生じることもあります(無自覚低血糖)。重症の低血糖を防ぐためには、早めに対処することが大切です。

低血糖への対処

以下を摂取して安静にしてください。

- ブドウ糖 5~10g
- 砂糖 10~20g
- ジュースなどの糖分を多く含む飲み物 150~200mL

15分程度たっても症状がある場合には、もう一度摂取してください。

! α -グルコシダーゼ阻害薬を服薬している場合は、必ずブドウ糖を摂取してください。

摂取できない場合は家族にグルカゴン注射をしてもらえるように、準備をしておくといでしょう。

周囲の人に、低血糖症状の対処について知らせておくといでしょう。

糖が排出される時、より多くの水分が尿として出ていくため、脱水などに注意が必要です。

脱水症状にならないように、特にスーグラ®錠の飲み始めの時期はこまめな水分補給を心がけましょう。

※スポーツドリンクなど糖分を含む飲み物は、血糖値を上昇させてしまうので避けましょう。

監修：川崎医科大学 名誉教授 川崎医科大学附属総合医療センター 特任部長 加来 浩平 先生
大阪医科大学 内科学I 教授 今川 彰久 先生

(ご所属・役職名等は2023年8月時点のものです)

スーグラ®錠は、1日1回、朝食の前か後に、
50mgを飲んでください。

1型糖尿病の方は必ずインスリン注射と併用してください。

効果不十分な患者さんには、医師の判断により1日1回100mgまで増量する場合があります。

- 服薬の時間や方法、服薬する量は、医師の指示に従ってください。
- 自分の判断で変更すると、お薬の効果がかわったり、副作用が起こる危険があります。
- 自分の判断では服薬を中止せず、医師の指示に従って服薬してください。

飲み忘れた場合は？

忘れた分を飲まずに、翌日の朝に1回分を飲んでください。

❗ 絶対に2回分を一度に飲んではいけません。医師に指示された量よりも多く飲むことは絶対に避けてください。



誤って多く飲んだ場合は？

低血糖症状に注意してください。

誤って多く飲んだことを医師または薬剤師に告げて、指示に従って対処してください。

下痢・嘔吐をくり返したり、食欲不振で食事や水分をとれないことが続いたりする場合は、スーグラ®錠の服薬を中止してください。

Q インスリン注射を止めていいですか？

A スーグラ®錠はインスリン注射の代わりになるものではありません。ご自身の判断でインスリン注射を中止しないでください。

体が糖を利用するためにインスリンが必要です。

1型糖尿病の方は体の中でインスリンを作れないので、注射として外から補う必要があります。

Q インスリン注射量を減らしていいですか？

A 医師の指示に従ってください。
一旦インスリン注射量を減らした場合は、血糖値を測定しながら、今までと同じ方法でインスリン注射量を調節していきます。また、現在の血糖値によってはインスリン注射量を減らさずに様子を見ることもあります。

Q インスリン注射のタイミングは今のままでいいのですか？

A 通常、スーグラ®錠を飲んでインスリン注射のタイミングは変わりません。医師の指示に従ってインスリン注射を行ってください。

※本資料は医療従事者が患者さんに説明する際にご使用いただくものです。